

南相馬市からの報告

小澤洋一（南相馬・特定避難勧奨地域の会）

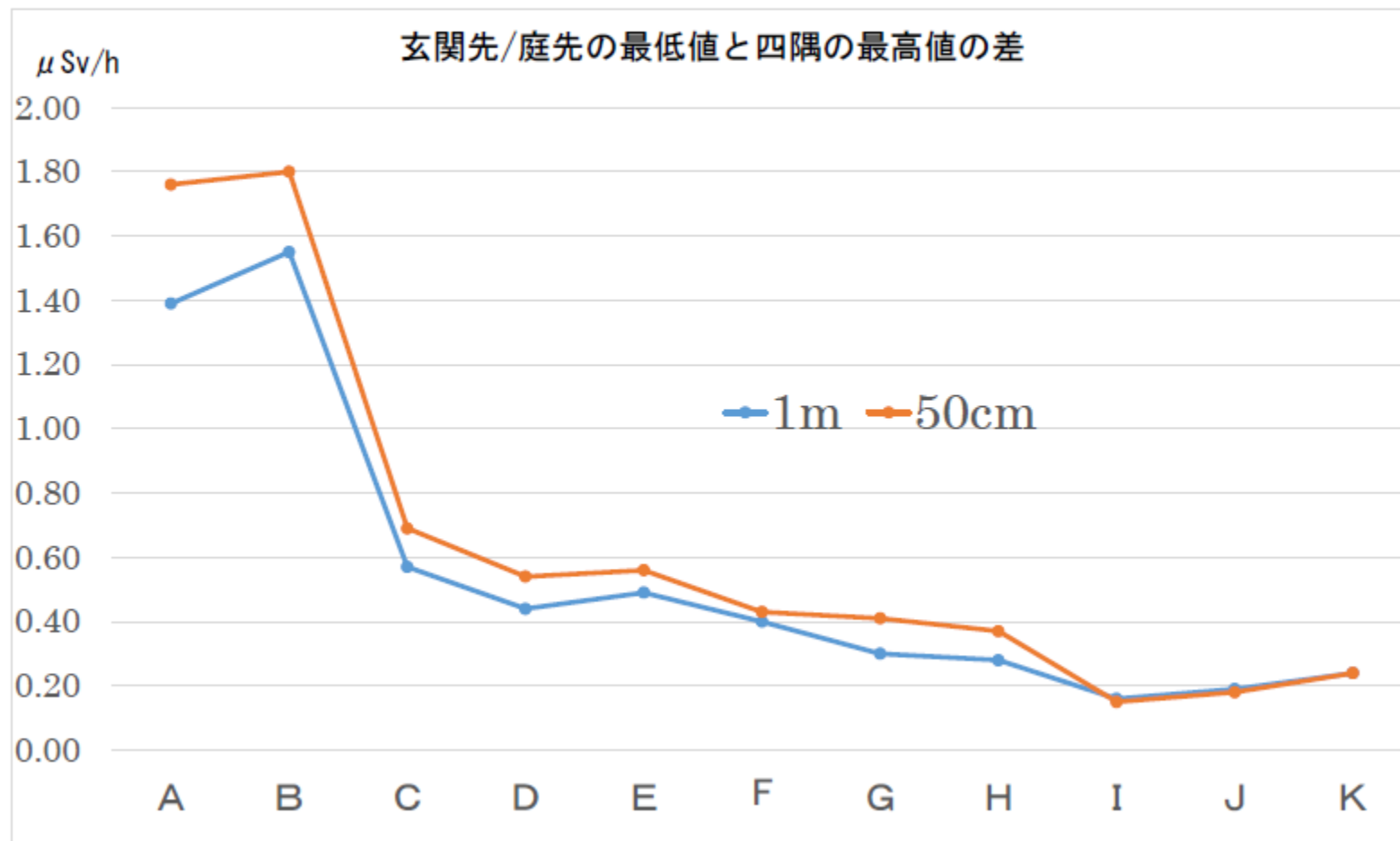
南相馬市：特定避難勧奨地点の独自計測値 2014年6月～8月
 日立アロカメディカルTCS-172Bで5回測定の平均値 (単位： μ Sv/h)

宅地	地上高	玄関先	庭先	四隅1	四隅2	四隅3	四隅4
A	1m	0.35	0.45	0.74	0.78	1.74	1.01
	50cm	0.36	0.39	0.78	0.86	2.12	1.46
B	1m	0.24	0.30	0.44	1.64	1.79	1.36
	50cm	0.23	0.28	0.39	1.86	2.03	1.51
C	1m	0.29	0.29	0.86	0.69	0.85	0.49
	50cm	0.27	0.25	0.94	0.69	0.83	0.66
D	1m	0.34	0.37	0.46	0.40	0.78	0.57
	50cm	0.29	0.39	0.47	0.41	0.83	0.55
E	1m	0.25	0.32	0.33	0.40	0.46	0.74
	50cm	0.24	0.30	0.33	0.40	0.38	0.80
F	1m	0.29	0.28	0.68	0.61	0.45	0.51
	50cm	0.30	0.28	0.71	0.54	0.50	0.58
G	1m	0.27	---	0.35	0.57	0.65	0.29
	50cm	0.23	---	0.31	0.44	0.64	0.31
H	1m	0.25	0.46	0.54	0.49	0.49	0.53
	50cm	0.22	0.41	0.59	0.51	0.51	0.58
I	1m	0.41	0.41	0.49	0.53	0.54	0.57
	50cm	0.41	0.43	0.46	0.56	0.51	0.56
J	1m	0.41	0.35	0.41	0.32	0.40	0.54
	50cm	0.49	0.31	0.33	0.31	0.45	0.44
K	1m	0.25	0.24	0.46	0.35	0.29	0.48
	50cm	0.26	0.23	0.43	0.36	0.29	0.47

(1)玄関先と庭先は、5cm深さで表土を剥ぎ碎石等を入れているので、最も数値が低い
 (2)国は最も数値が低い玄関先と庭先でのみ計測して、最大リスクの評価を避けている
 (3)全てが子どもがいる世帯で、AとBは50cm高で 2μ Sv/hを超えており、解除は不当
 ※なお、除染後は建物内の数値が大きい場合があり、木造屋内=40%は成立しない

ふくいち周辺環境放射線モニタリングプロジェクトの馬場地区測定資料より

南相馬市：特定避難勧奨地点の独自計測値 2014年6月～8月



モニタリングポストの観測結果一覧
 2014年9月29日00時20分時点
 原子力規制委員会の資料より
 (単位: $\mu\text{Sv/h}$)

特定避難勧奨地点のある区域

(解除されようとする地域)

鹿島公民館榎原分館	0.272
大原公会堂近傍	0.617
大谷生活改善センター	0.423
高倉公会堂	0.302
押釜集落センター	0.241
押釜字越田集落	0.604
馬場公会堂	0.284
片倉公会堂	0.418

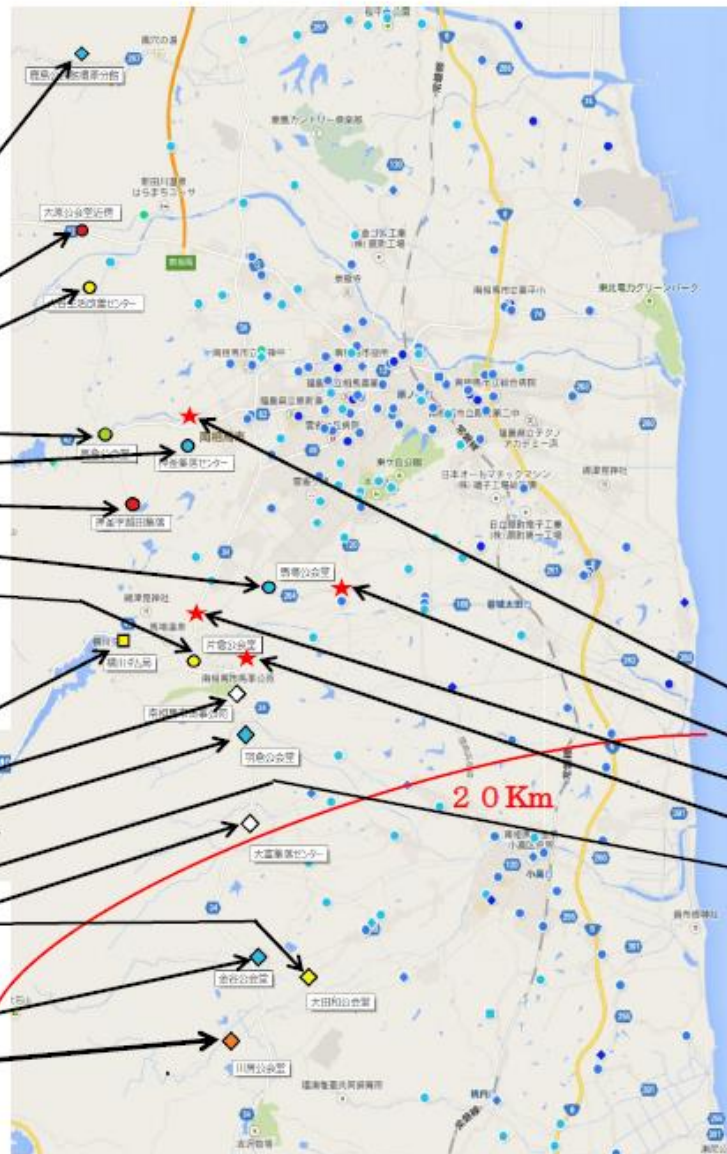
強制避難指示区域

避難指示解除準備区域: 1~20 ミリ Sv/年

横川ダム局	0.445
南相馬市馬事公苑	0.186
羽倉公会堂	0.297
大宮集落センター	0.195
大田和公会堂	0.411

居住制限区域: 20~50 ミリ Sv/年

金谷公会堂	0.270
川房公会堂	0.584



- (1) 強制避難区域の小高区よりも、解除されそうな原町区の方が高い数値を示している
- (2) $0.6\mu\text{Sv/h}$ (3 ヶ月で 1.3mSv) は、放射線管理区域の境界線を示す所で居住できない
- (3) 少なくとも特定避難勧奨地点の解除が強制避難指示区域より早いことはあり得ない
- (4) 国には、原発発事故以来何度もこの状況を伝えてきたが完全に無視され続けてきた

リネン吸着法による Cs-137 吸着率
 (単位: $\text{mBq/m}^2\cdot\text{h}$)

原町区押釜字戸島土	42.38
原町区上太田字前田	11.15
原町区馬場字垣ノ内	75.70
原町区片倉字岩下	10.68
原町区馬場字五台山	48.94

測定結果

リネン吸着法による大気中ダストのCs-137濃度比較



福島老朽原発を考える会（フクロウの会） 事務局長 青木一政氏の資料より

福島県南相馬市内と福島県内の土壌汚染と黒い物質		Bq/m ²	Bq/kg	測定日
土 壤	原町区原浪トンネル手前の土(wet)		1,620,000	2014年9月
	小高区川房・お墓の土(wet)--非居住--	658,000	10,600	〃
	原町区相馬野馬追会場の土(wet)	131,000	2,270	〃
黒い物質	原町区馬場の黒い物質(dry)		994,000	2014年8月
	原町区馬場の黒い物質(wet)		848,000	2014年9月
	小高区桃内駅の黒い物質(dry)--非居住--		467,000	〃
	原町区大木戸のショッピングモールの黒い物質(wet)		164,000	〃
	原町区日の出町・市立総合病院付近の黒い物質(wet)		160,000	〃
土 壤	磐越自動車道・五百川PA(郡山市)	136,000	<2,092>	2014年7月
	磐越自動車道・新鶴PA(会津美里町)	55,700	<857>	〃
	磐越自動車道・三春PA(田村郡)	41,500	<638>	〃
	(磐越自動車道新潟PA)	102	<2>	〃
黒い物資	安達郡大玉村・国道4号線玉貫交差点		108,000	2014年8月
	福島市・4号線と115号線の交差点		81,900	〃
土 と 砂	国道4号線上り車線:福島県立医大の西側		78,900	2014年8月
	国道4号線下り車線:大玉村・玉貫交差点		35,600	〃
除染砕石	原町区馬場・除染後の民家雨樋下の砕石(dry)		53	2014年9月
	原町区馬場・除染後の民家雨樋下の黒ずんだ砕石(dry)		481	〃

※放射性セシウム40,000Bq/m²以上は放射線管理区域に相当

※放射性セシウム10,000Bq/kg以上は放射性同位元素に相当

(ふくいち周辺環境放射線モニタリングプロジェクト、河野益近氏の資料より抜粋)

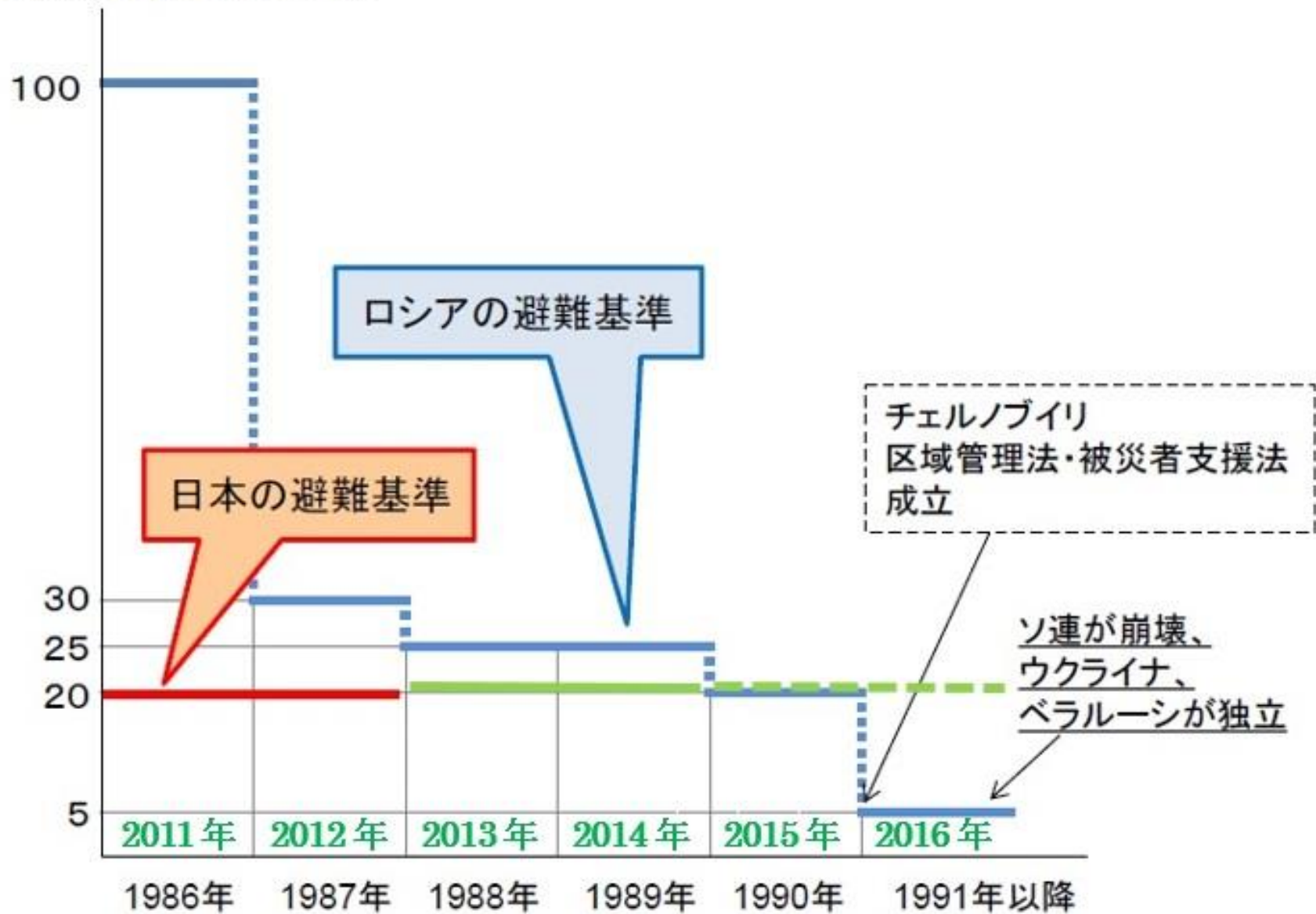
2014年1月26日 南相馬市原町区馬場字本堂と台地域 宅地除染後の地上1m空間線量率($\mu\text{Sv/h}$) by ギョロガイガー



2014年1月27日 南相馬市原町区馬場字本堂166 小澤宅地除染後の地上1m空間線量率($\mu\text{Sv/h}$) by ギョロガイガー



図表 チェルノブイリ原発事故と東電福島第一原発事故の避難等の基準の変遷の比較
年間被ばく線量(mSv/年)



経産省資料に加筆